

《敬老の日のプレゼントについて》

自分たちを大切に愛してくれる人の存在に気付く事は、子ども達の育ちに大きな力になります。大きくなって『自分でなんでも出来る、しないとイケない』と思った時に、自分の周りで支えてくれる人の存在に、思いに気付く日であってほしいと思い、9月の「敬老の日」を伝える事を大切に取り組んでいます。

おじいちゃん、おばあちゃんに子ども達が自分の力で作れる物を制作しました。幼児さんは、「保育園にあそびに来てくれてありがとう！」乳児さんは「敬老参観に来てね！」そして子ども達みんなの「いつも自分たちの事を思ってくれてありがとう」の気持ちを込めて贈らせていただきました。

『敬老参観』は、幼児さんは7月に、乳児さんが10月で取り組んでいます。おじいちゃんおばあちゃんと一緒に園で過ごすひとときは、きっとこれからの成長に貴重なものとなります。乳児さんは個別参観として一緒に楽しんでもらいます。どうぞ園にあそびに来てください。幼児さん7月にたくさんの方々に参加して頂いてありがとうございました。

《保育者を目指す学生さんの実習受け入れについて》

保育の現場には、保育者を目指して勉強しているいろんな養成校の学生さんが実習にやってきます。

特に、桂ぶどうの木こども園には同一法人の中に保育士及び介護福祉士の養成校(京都保育福祉専門学院)があり、保育科の学生さんが実習の第一段階としての見学実習にやってきます。子どもの様子、保育の様子などを実際にみて触れて学ぶことは大切です。

10月から1月にかけての木曜日午前中。朝の登園時間などご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、ご理解の程よろしく願います。

《園庭にラディシュ(二十日大根)を植えました。》

猛暑にプランターの花も上手く育たず、枯れてしまいました。園庭で枯れた花を整理していると、「ナニシテルノ？」と子ども達が寄ってきました。暑い夏の間一生懸命お花を咲かせて素敵な園庭にしてくれたけれど、枯れたから「ありがとう」して整理して、新しい肥料を入れてラディシュをひとつのプランターに植える準備をしている事を話しました。子ども達も興味を持ってその様子を観察し、水をあげる時はジョロでお手伝いをしてくれた子どももいました。今小さな芽が出てきています。秋は食べ物の収穫の季節でもあります。おもほりも経験しますが、作物が育つ様子を身近で楽しみながら収穫する喜びを感じられるようにと植えました。

《地域の方々に見守られて・・・》

4月下旬頃、園の前を時々通りながら道路脇の花壇の花が、枯れていたりしてない所があり気に掛けて下さっていた女性の方が、家にある南天の苗木を植えて下さいました。それをきっかけに親しくなり、色々な花の苗木を植えて頂くようになりました。

ご近所の方とお話をする機会がありました。「子どもさんの声に元気ももらっています。プールやどろんこあそび、夏は本当に楽しそうにあそぶ声が聞こえてきてこっちまで楽しい気持ちになりました」とおっしゃって頂きました。地域の方々に見守って頂けている事を感じ感謝する出来事でした。

9月25日赤ちゃんフロアの門に車が衝突する事故が起こり、駐車場が使えずご不便をおかけしています。早急の対応をお願いしていますが、修復に今しばらく時間が必要です。ご協力よろしく願います。運転手さんのちょっとした不注意からの事故でした。子ども達にケガがなく安堵しています。朝夕限られた時間の中で、気がせく事と思いますが、こちらが気をつけていても事故に巻き込まれる事もあります。だからこそ子どもの安全に気をつけていきたいと思う出来事でした。保護者の方々も登降園の際気をつけて下さい。